

# 屋根融雪 エアコン活用

高断熱住宅の福地建装(北斗市)は雪が積もりにくい屋根を開発した。屋根の下部に設けた空洞にエアコンの温風を循環させて雪を溶かす。現在主流の屋根融雪はヒーターや温水の熱を使うが、電気代など熱源コストが高くなる。エアコンは熱効率が高く、熱源コストがヒーター方式の融雪屋根の2割程度で済むとして、まず道内で販売。東北や北陸、信州など本州の積雪地にも販路を広げる。

## 福地建装



屋根の内部。エアコンの温風を循環させて屋根に付いた雪を溶かす(北斗市)

同社はエアコン1台で住宅全体の冷暖房をまかなえる高気密・高断熱住宅を開発、1993年から「ファース(FAS)」の家」ブランドで販売している。この技術を転用した。室内などに設置し

たエアコンの温風を屋根の空洞にまんべんなく行き渡らせて温度を上げ、雪が積もる前に溶かす。同社はこの屋根を本社社屋に設置、現在は出方調整など実証実験を進めている。効果を確認し、

### 熱源コスト、ヒーターの2割

## 下部で温風循環

早期に一般向け販売を目指す。ファースの家はフランチャイズ方式で展開し、全国182社の工務店と提携している。新たな屋根の施工は提携先の中小工務店が担う。新築だけでなく、既存の住宅にも設置できる。屋根の上に取り付ける形となる。設置費用(工事費込み)は屋根面積20坪(66平方メートル)程度の一般家屋で200万円。施工は住宅に住んだまま、約10日で完工する。積雪地域では冬季に屋根の雪下ろしが不可欠だが、作業中の転落事故が絶えない。高齢化で除雪

がままならない住宅も増えている。福地脩悦社長は「雪が積もらない屋根を設置すれば作業中の事故がなくなる」と話す。

福地建装の2015年の売上高は14年比4割増の7億8100万円の見込み。札幌と東京にも事務所を持ち、ファースの家の建築実績は提携工務店を含めて3463棟。

政府は新築住宅の省エネ基準を2020年に義務付けることを検討しており「ファースの家は省エネ基準に対応している」という。(研究開発室) という。